

事業番号	05 08 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	感染症対策事業	部局	健康福祉部	課・室	感染症対策課	
		実施期間	S26 ～	E-mail	kansen@pref.nagano.lg.jp	
次期総合5か年計画（答申書）との対応関係						
政策の柱	持続可能で安定した暮らしを守る					

1 現状と課題

- ・感染症は、人類創世期以来の脅威として常にあり続けている。
- ・国際交流の活発化等により海外からの病原体の侵入を防ぐことには限界がある。
- ・感染症対策には、予防・治療・療養の体制確立が肝要であり、一律に隔離するといった対策の必要性は減少している。
- ・社会機能の維持のため、人権にも配慮しながら必要最小限度で感染症対策を実施する必要がある。

2 事業目的

感染症の発生及びまん延を防止することにより、県民の公衆衛生の向上及び増進を図る。

3 事業目的を達成するための取組

①感染症の流行状況の調査及び公表

- ・感染症の発生動向を把握するため、感染症法に基づき医療機関等から患者発生に係る情報を収集。
- ・感染症の流行に係る情報を県民に伝え、予防に努めていただくため、積極的疫学調査等によって得られた情報を分析し、公表。

②感染症に関する各種検査・相談事業や啓発事業の実施

- ・社会的影響が大きい結核、エイズ等の感染症について、県民の不安解消及び同感染症のまん延防止のため、保健所において検査及び相談を受け付ける。
- ・エイズ等の感染症について、県民の注意を促すため、感染症の性質や感染経路等について啓発活動を行う。

③新興感染症のまん延等への対応

- ・新興感染症の発生又はまん延の兆しを把握した際、感染拡大を防止するため、積極的疫学調査の実施、入院勧告等の隔離措置といった対応を感染症法に基づき迅速に行う。
- ・社会的な感染が長期化した場合は、予防・治療方法の確立に合わせ、社会経済活動の維持と感染拡大防止の両立を見据えた対策を実施していく。

4 成果指標

(推移の凡例 ↗ : 改善 ↘ : 悪化 → : 変化なし — : 数値なし)

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	見込値	推移				
①	集団発生事例数（新型コロナ、季節性インフル、新興感染症によるものを除く）	件	1	21	↘	8	↗	13	△	新型コロナの流行により感染対策が徹底され、集団発生が少ない状況ではあるが、少しずつ流行前の生活を取り戻している現況から、過去5年（H30～R4見込）の平均値の13件を目標とする。	
②	保健所におけるHIV検査受検者数	人	349	273	↘	264	↘	350	△	新型コロナの流行により受検者数が減少している中で、R5年度の新型コロナの動向は不透明ではあるが、少しずつ流行前の生活を取り戻している現況から、流行初期のR2年度の実績と同程度の350人を目標とする。	
③	新興感染症に係る行政検査実施件数	件	117,675	466,691	—	892,476	—	623,460	△	感染拡大防止のためには積極的な検査の実施が必要であるため、令和5年度当初予算で計上している行政検査件数を目標値として計上している。	

5 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算	合計	うち一般財源		
R5年度	(予算案)				0		51.0
	(要求)		37,455,356		37,455,356	2,054,057	
R4年度	0	38,454,162	2,268,595	40,722,757	1,405,631		51.0
R3年度	2,491,247	16,203,885	33,671,268	52,366,400	4,701,743	42,551,450	55.0

事業番号	05 08 01	細事業一覧（令和5年度実施事業分）	■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	感染症対策事業		部局	健康福祉部	課・室	感染症対策課

細事業 No.	細事業名		R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
1	感染症対策事業		15,971,112 千円	38,239,387 千円	(予算案) (要求) 37,254,969 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	感染症対策協議事業	直接	感染症対策懇談会の開催。 年1回開催		
2	感染症健康診断事業	直接	健康診断用医薬材料の購入、感染症検査機器（DNAシーケンサ等）の更新を行う。 検査実施検体数見込み：716件		
3	感染症入院医療費負担事業	直接 委託	感染症患者を指定医療機関へ移送する体制を整備するとともに、入院医療費を公費で負担する。 新型コロナウイルス感染症の入院又は療養に係る医療費見込み：863,128千円		
4	感染症指定医療機関補助事業	補助金	第一種（1病院）、第二種（11病院）感染症指定医療機関の運営費に対して補助を行う。 11医療機関の体制を維持		
5	予防接種対策事業	委託 補助金 負担金	・予防接種により健康被害を受けた者に対し、医療費、障害年金等を負担する。 ・骨髄移植等により免疫消失した児に対するワクチン再接種費用を助成する市町村に対し、その費用の一部を負担する。 ・予防接種センター事業を実施する。 ワクチン再接種費用補助件数見込み：11件		
6	新型インフルエンザ等対策推進事業	直接	新型インフルエンザ対策として、検査試薬の購入等を行う。 検査実施検体数見込み：50件		
7	風しん抗体検査事業	委託	安心して妊娠、出産できる環境づくりに資するため、第一子の妊娠を希望する女性を対象に、風しんの抗体検査を実施する。 検査実施件数見込み：298件		
8	PCR検査体制強化事業	直接 委託	新型コロナウイルス感染症について、医療機関における検査の患者自己負担分助成及び行政検査の民間検査機関への委託を行う。 行政検査等実施見込み件数：623,460件		
9	新型コロナウイルス感染症患者受入病床確保事業	補助金	新型コロナウイルス感染症の患者受入病床を確保する医療機関に対し、病床確保料を助成する。 確保病床数：531床		
10	新型コロナウイルス感染症相談窓口事業	直接 委託 補助金	相談先医療機関の案内等を目的とした「受診・相談コールセンター」の業務を委託により実施する。また、受診・相談コールセンターでは困難な事案に対応するため、保健所に相談体制を構築する。 受診・相談コールセンター回線数：日中10回線、夜間3回線		
11	新型コロナウイルス感染症外来・検査センター運営事業	直接 委託	診察及び検体採取を集中的に行う「新型コロナウイルス感染症外来・検査センター」を、郡市医師会等に委託して県内各圏域ごとに設置する。 県内10箇所に設置（感染状況等に応じて廃止を検討）		
12	新型コロナウイルス感染症対応設備等維持事業	補助金	県内医療機関等における人工呼吸器等のリース料補助を継続し、新型コロナウイルス感染症の診療・検査体制の維持を図る。 補助対象医療機関数：11機関		

13	新型コロナウイルス感染症患者対応医療従事者宿泊施設確保事業	補助金	新型コロナウイルス感染拡大時における医療提供体制を維持するため、自宅へ帰宅できない医療従事者の宿泊施設を用意することで、当該従事者の不安を解消する。 補助金活用医療機関における延べ宿泊日数見込み：6,000日
14	専門家懇談会設置事業	直接	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、専門的な助言や意見を聴くため、専門家懇談会を設置する。 年48回開催
15	新型コロナウイルス感染症軽症者等受入施設等確保事業	直接委託	新型コロナウイルス感染症の罹患者増大に備え、県内宿泊療養施設及び療養者の自宅において、軽症者等の受入体制を確保する。 運営施設：宿泊療養施設6施設、健康観察センター
16	感染拡大傾向時の検査無料化事業	補助金	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の傾向が見られる際に、県の要請により無症状者に対する検査を無料で実施する。 年間支出見込み：740,584千円

細事業No.	細事業名		R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
2	感染症調査予防事業		18,516 千円	18,302 千円	(予算案) (要求) 18,640 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)		
1	感染症発生動向調査事業	直接	感染症の発生状況を収集・分析するため、届け出医療機関への協力謝金や、環境保全研究所で行う検査の医薬材料を購入する。 検査実施検体数見込み：1,561件		
2	感染症流行予測調査事業	直接	インフルエンザや麻しん・風しん等の感染症の流行予測を行うため、保健所が検査に係る医薬材料を購入する。 検査実施検体数見込み：822件		
3	感染症健康診断等予防対策事業	直接	インフルエンザ様疾患の集団発生の状況把握のため、環境保全研究所が行う検査に係る医薬材料を購入する。 検査実施検体数見込み：1,000件		
4	予防接種後健康状況調査事業	直接	予防接種後の被接種者の健康状況についての情報を収集する。 調査協力予定医療機関数：13医療機関		

細事業No.	細事業名		R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
3	結核対策事業		61,571 千円	57,793 千円	(予算案) (要求) 51,835 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)		
1	結核健診事業	直接委託	結核の疑いのある者の健診、結核治癒後の者の検診を実施するため、医薬材料の購入及びエックス線撮影を実施する。 検査実施検体数見込み：1,300件		
2	結核医療費負担事業	直接	通院患者及び入院勧告患者に対して医療費の公費負担をする。 医療費見込み：21,976千円		
3	結核健康診断補助事業	補助金	私立学校及び私立施設が行う定期健康診断に要する費用について補助する。 健康診断実施事業者数見込み：157事業者		
4	結核定期病状調査事業	直接	結核の二次感染等を防ぐため、結核登録者のうち病状把握が困難な者について、医療機関等から登録履者の病状を把握する。 定期病状調査報告書作成見込み件数：300件		

細事業 No.	細事業名		R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
4	結核特別対策事業		409 千円	396 千円	(予算案) (要求) 396 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)		
1	結核予防総合事業	直接	結核患者の服薬確認(DOTS)を徹底するため、服薬手帳を作成し、患者に配布する。 作成予定部数:300部		
2	結核予防技術者研修事業	直接	結核業務に従事する保健所職員を研修に派遣する。 派遣予定人数:4人		

細事業 No.	細事業名		R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
5	特定感染症(エイズ・性感染症)対策事業		6,568 千円	5,309 千円	(予算案) (要求) 4,424 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)		
1	エイズ・性感染症相談・検査、普及啓発事業	直接 委託	<ul style="list-style-type: none"> 保健所が行うHIV等の性感染症の無料検査に係る医薬材料費を購入するとともに、エイズ予防に関する啓発パンフレットを作成する。医療従事者感染症対策研修会を開催する。 性器クラミジア感染症等検査及び医療機関等における針刺し事故発生時に使用する抗HIV薬配備を行う。 HIV、性器クラミジア、梅毒検査見込み件数:1,800件		

細事業 No.	細事業名		R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
6	ウイルス肝炎対策事業		145,493 千円	132,759 千円	(予算案) (要求) 124,876 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)		
1	ウイルス肝炎対策事業	直接 委託	<ul style="list-style-type: none"> ウイルス肝炎診療協議会を開催するとともに、ウイルス肝炎患者の経済的負担軽減を図るため、慢性肝炎、肝硬変及び肝がんの患者に対する医療費の一部を負担する。 肝疾患相談支援センター事業、ウイルス肝炎検査事業等を実施する。 医療費見込み:102,127千円		

細事業 No.	細事業名		R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
7	ハンセン病対策事業		216 千円	216 千円	(予算案) (要求) 216 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)		
1	ハンセン病対策事業	直接	ハンセン病に関する正しい知識の普及や療養所施設の入所者への支援を図るため、社会交流(里帰り)事業や診療所訪問(2か所)を行う。 療養所訪問:年1回、2か所		